

エボラ出血熱対策に関する WHO ミッションへの日本人専門家参加の概要

参加する専門家：国立感染症研究所感染症疫学センター

島田 智恵 （しまだ ともえ） 医師

有馬 雄三 （ありま ゆうぞう） 博士

訪問予定先： シエラレオネ

参加期間：平成 26 年 10 月 20 日～11 月 21 日（約 5 週間）

目的：エボラ出血熱対策に関する WHO ミッションに専門家として参加し、現地のエボラ出血熱に関する疫学調査を行う。

西アフリカにおけるエボラ出血熱の発生状況（平成 26 年 10 月 15 日現在）：

国	患者数	死亡者数
ギニア	1, 472	843
リベリア	4, 249	2, 458
シエラレオネ	3, 252	1, 183
ナイジェリア	20	8
セネガル	1	0
合計	8, 994	4, 492

過去の実績：平成 12 年にウガンダにおいてエボラ出血熱の流行が発生した際、WHO の要請を受けて、3 回にわたり 5 名（延べ 6 名）の専門家が派遣されています。

平成 24 年にウガンダにおいてエボラ出血熱の流行が発生した際、WHO の要請を受けて、1 名の専門家が派遣されています。

平成 26 年 5 月と 8 月にリベリアに、7 月にシエラレオネに、WHO の要請を受けて、エボラ出血熱対策の専門家として、3 名（延べ 4 名）の専門家が派遣されています。

参考（厚生労働省検疫所ホームページ）：

・エボラ出血熱

<http://www.forth.go.jp/useful/infectious/name/name48.html>